

## 第 2 回 村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 会議録

日 時	令和 2 年 12 月 22 日 (火) 午後 2 時 30 分～午後 4 時 45 分
場 所	村松幼稚園 遊戯室
出席者	・各村立幼稚園職員 (8 名) ・村立保育所及びこども園職員 (4 名) ・指導室 (1 名) ・子育て支援課 (4 名)
次 第	* 村松幼稚園周辺の現地確認 1. 開会 2. 子育て支援課長挨拶 3. グループワーク ①村松幼稚園への登降園時の交通手段について ②駐車場の確保について 4. 閉会

### 村松幼稚園周辺の現地確認

会議開催前に、駐車場や周辺道路などにおける現状と課題等を確認するため現地確認を行った。  
現地確認後、村松幼稚園遊戯室において、会議を開催した。

#### 1. 開会

#### 2. 子育て支援課長挨拶

#### 3. グループワーク

- ・各テーマについてグループワーク形式で意見出し。
- ・グループワークに当たっては、今後の方向性を判断するための材料として、実施の可否を問わず、現時点で想定される課題とその解決方法について多方面から検討を行った。

##### ①村松幼稚園への登降園時の交通手段について

登降園時の交通手段の一つとして考えられる園バスの導入を検討するにあたり、園バス導入におけるメリット・デメリット（課題）及び、デメリット（課題）の解決方法について、意見出しを行った。グループワークで出された意見については、別添「第 2 回村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 意見出しのまとめ」のとおり。

##### ②駐車場の確保について

- \* 閉会予定時間を超過したため、次回検討することとする。

#### <現地確認で気づいたこと・意見等>

- ・歩道橋手前（合同庁舎側）の横断歩道は、少し危ないと感じた。
- ・東海中学校第2グラウンド横のスペースを駐車場とすることは、原研通りの横断歩道や歩道橋を渡ることを考えると難しいと思った。きょうだいに幼児のいる家庭は、ベビーカーを押してくる保護者もいる。
- ・東海中学校第2グラウンド横のスペースは、バスの置き場としてなら良いと思うが、バスの乗降をさせることは絶対にやめたほうが良い。短い移動距離の中にも危険が多く、敷地内で乗降する方が安全でよい。
- ・逆転の発想として、歩きたくなるような道づくりはどうか。例えばとしては大げさにはなるが、屋根付きで雨でも濡れない歩道にする、地下に歩道を通す、立体駐車場にして2階に園との連絡通路を通す…など。
- ・村松幼稚園周辺に園児が大人数になることで、地域に迷惑がかからないかと心配。
- ・住む地域によっては、園バスよりも車で来た方が早いと思う家庭もあるのではないかな。

#### <まとめ>

- ・次回は、今日できなかった駐車場の候補地について話し合っていきたい。
- ・今回の協議内容を持ち帰り、各園でまた意見をまとめてもらいたい。

#### 4. 閉会

# 第2回村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 意見出しのまとめ

## テーマ: 園バス導入のメリット・デメリット(課題) 及び デメリット(課題)の解決方法

今後の方向性を判断するための材料として、実施の可否を問わず、現時点で想定される課題とその解決方法について多方面から検討を行ったものであり、決定事項ではありません。

メリット

デメリット(課題)

デメリット(課題)の解決方法

### 保護者の負担軽減

- 車や運転免許がない人の交通手段になる
- 家が遠い人でも通いやすくなる
- 送迎時間を気にせず済む

### 保護者と先生のコミュニケーションに関すること

- 直接やり取りする場が減り、コミュニケーションが取りにくくなる
- 子どもの様子を伝える手段に限られる、難しくなる
- 保護者が先生に相談しにくくなり、信頼関係が薄くなる

- 家庭訪問を実施する
- メール配信やアプリなど連絡帳を電子化する
- 連絡帳やおたよりノートで伝わりにくいことは電話で連絡をする

### 費用に関すること

- 車両の購入費や運転手の人件費などの維持費がかかる
- バス利用料金を徴収する場合保護者に費用負担が生じる

- 一部を保護者に負担してもらう
- リース契約をする
- 寄附を募り維持費に充てる(クラウドファンディング等)
- 保育サービスを充実させる

### 渋滞の解消

- 自家用車による周辺の混雑を解消できる

### 子どもに関すること

- お友達と一緒に乗りたがる子(乗りたがらない子)が出てくるかもしれない

- バス台数を増やし多くのルートを設定する

### バスの添乗や引率に関すること

- 登園園に対応する職員と、添乗する職員がそれぞれ必要になる
- 当日の利用園児の把握が難しい
- 添乗者が必ずしも担任の先生とはいえ、子どもの様子について聞かれても答えられない
- 人員不足で先生の負担が大きい
- 園児が一度に登園し混雑する

- 職員(保育者)を増員する
- 添乗や引率は民間へ委託する
- 登園時は親子で乗車し添乗員を不要とする(しかし保護者の負担は大)
- 連絡票などで利用園児を把握する
- 到着時間をずらして混雑を避ける

### 楽しめる・活用できる

- バスが好きな子は通園を楽しめる
- お友達と一緒に通園できる
- 園外保育や幼小交流、遠足など、保育の幅が広がる

### 緊急時に関すること

- 感染症流行時などバスの乗せで密になる
- 災害時の子どもの引き渡しがかねてからの方法では困難になる(車や免許のない家庭や家が遠い家庭等)

- 感染症対策として車内の換気システムなど機能の良いものを採用する

### バスの乗降に関すること

- バスの時間を守れない人が出てくる
- 決められた時間にしか利用できない
- 安全に停車、乗降できるスペースの確保が必要となる
- 長時間の乗車で疲れてしまったり、車酔いをしてしまうかもしれない
- 乗車中に車内でのケガや交通事故が生じるかもしれない
- 自家用車とバスそれぞれの駐車場の確保が必要となる

- 乗車園児の名簿を作成し来ていない場合は連絡する
- 学区ごと、または幼稚園跡地やコミセンなどを停留所にする
- バスロケーションシステムを活用する
- 看護師を雇用する
- 保険へ加入する
- 運転手へ研修を実施する
- 新たな駐車場用地等を確保する

### 駐車場問題の解決

- 新たな駐車場の確保が不要となる
- 駐車場での問題(混雑やトラブル、事故)が解消できる

### 保育サービスに関すること

- 乗車時間が長くなる場合保育時間が短くなってしまふ
- 早退する場合バスの配車が困難になる
- 預かり保育等で降園時間が通常と異なる場合バスの配車が困難になる
- 職員会議の時間の確保が難しくなる

- 長時間保育を行う
- 職員(保育者)を採用して人員確保する
- 預かり保育を利用する場合は降園のみ自力で迎えに来てもらう
- バス利用園児が早退するとき保護者が迎えに来ることが困難な場合に対応するため看護師を配置する